

女性の健康週間公開講座
平成23年3月6日(広島)

①

健やかに、美しく

—子宮頸がんの^{予防}をめざして—

「進んで検診を受けよう！」

「親子で学ぼう！子宮頸がん予防ワタチン！」

3月1日～8日は^{あなた}女性の健康週間

(3月3日：ひなまつり 3月8日：国際女性の日)

独立行政法人国立病院機構

四国がんセンター—婦人科

日浦 昌道

健やかに、美しく。
子宮頸がん検診の重要性
子宮頸がんは、早期発見・早期治療で
治癒率が高いがんです。定期的な検診で
早期発見し、適切な治療を受けることで
健康な生活を送ることができます。

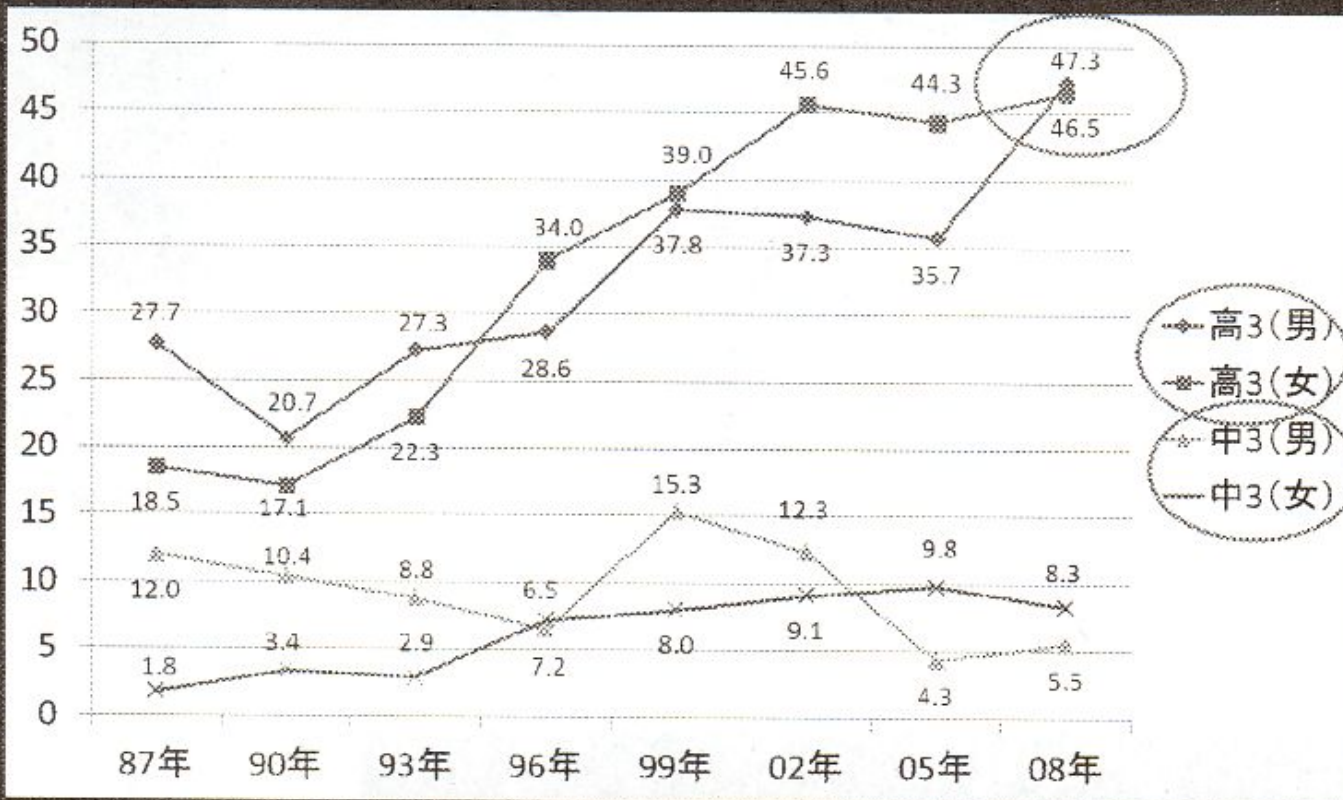
子宮頸がん発症の若年化

性行動の低年齢化, 自由化, 多様化などに伴い, 子宮頸がんの原因であるヒトパピローマウイルス(HPV)感染が若年者に増加し, 子宮頸がん発症の若年化が問題となっている。

ヒトパピローマウイルス (Human papilloma virus; HPV)

性交経験率の年次推移 (中3, 高3男女: %)

3



(社)日本家族計画協会「都性研 '08児童・生徒の性意識性行動調査結果の概要(2008.11.12更新)」改変

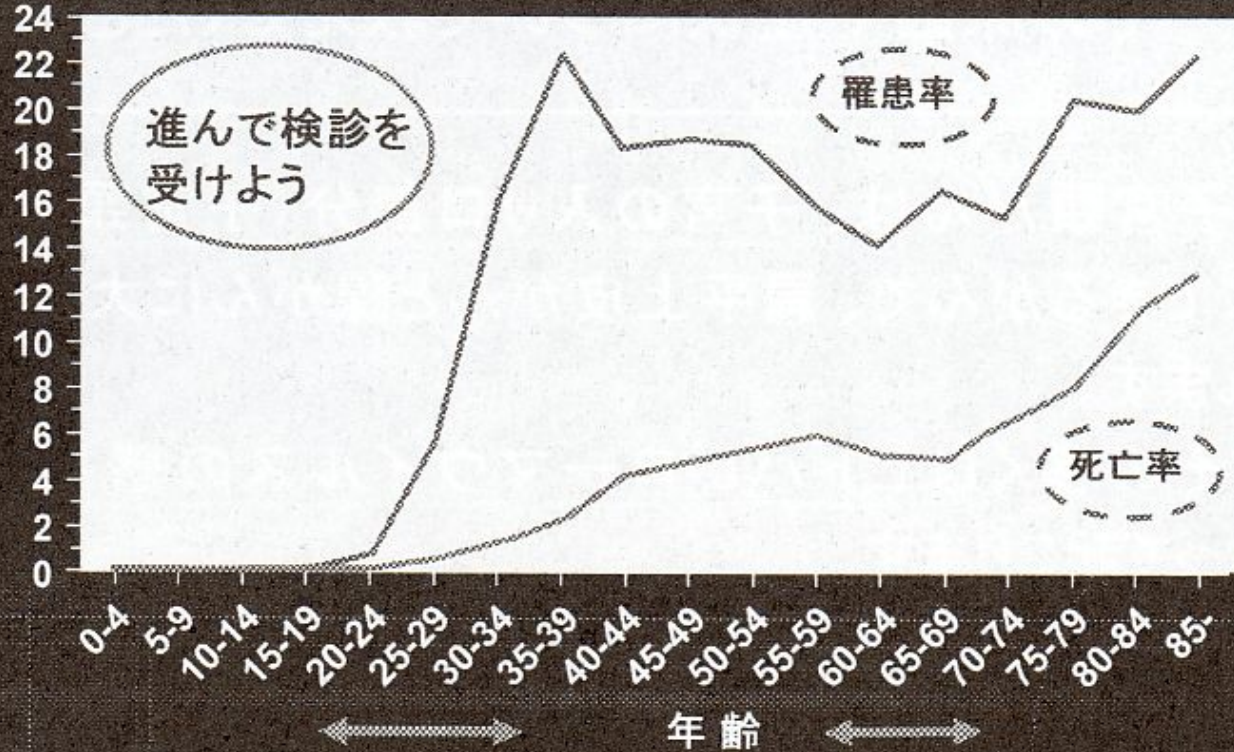
子宮頸がんの罹患率と死亡率(日本人女性)



人口10万対

(人)

年間約7,000人が罹患し約2,500人が死亡



罹患率: 2001年データ, 死亡率2005年データ

国立がんセンターがん対策情報センター

子宮頸がんの予防

- 生活習慣の予防(とくに性感染症の予防)
- がん検診(細胞診による検診)受診率の向上
- HPVワクチン

ヒトパピローマウイルス (Human papilloma virus; HPV)

⑤

がん対策基本法(2007)

⑥

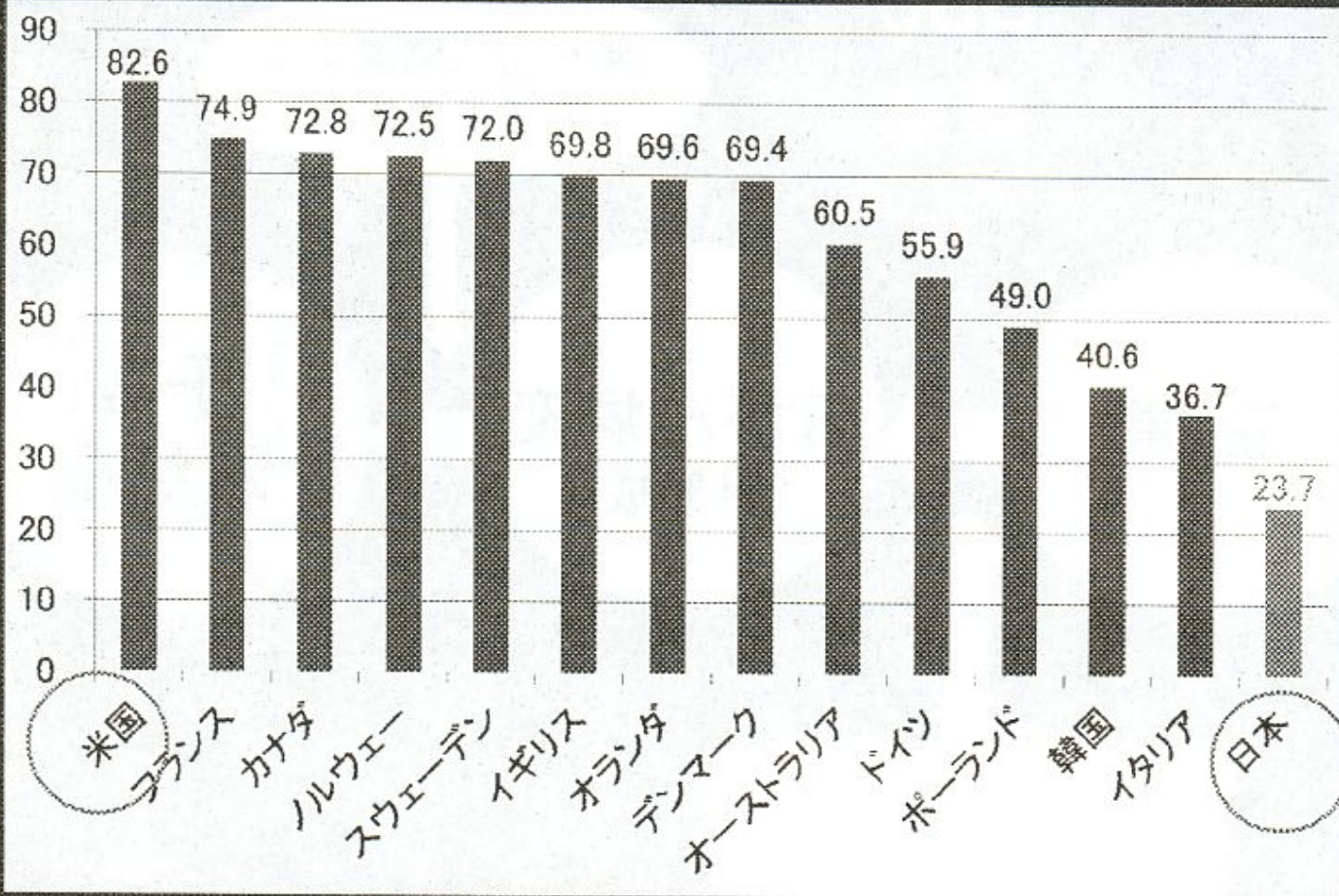
がんの予防及び早期発見の推進

- がん予防の推進
- がん検診の質の向上



がん検診受診
率を50%に向上

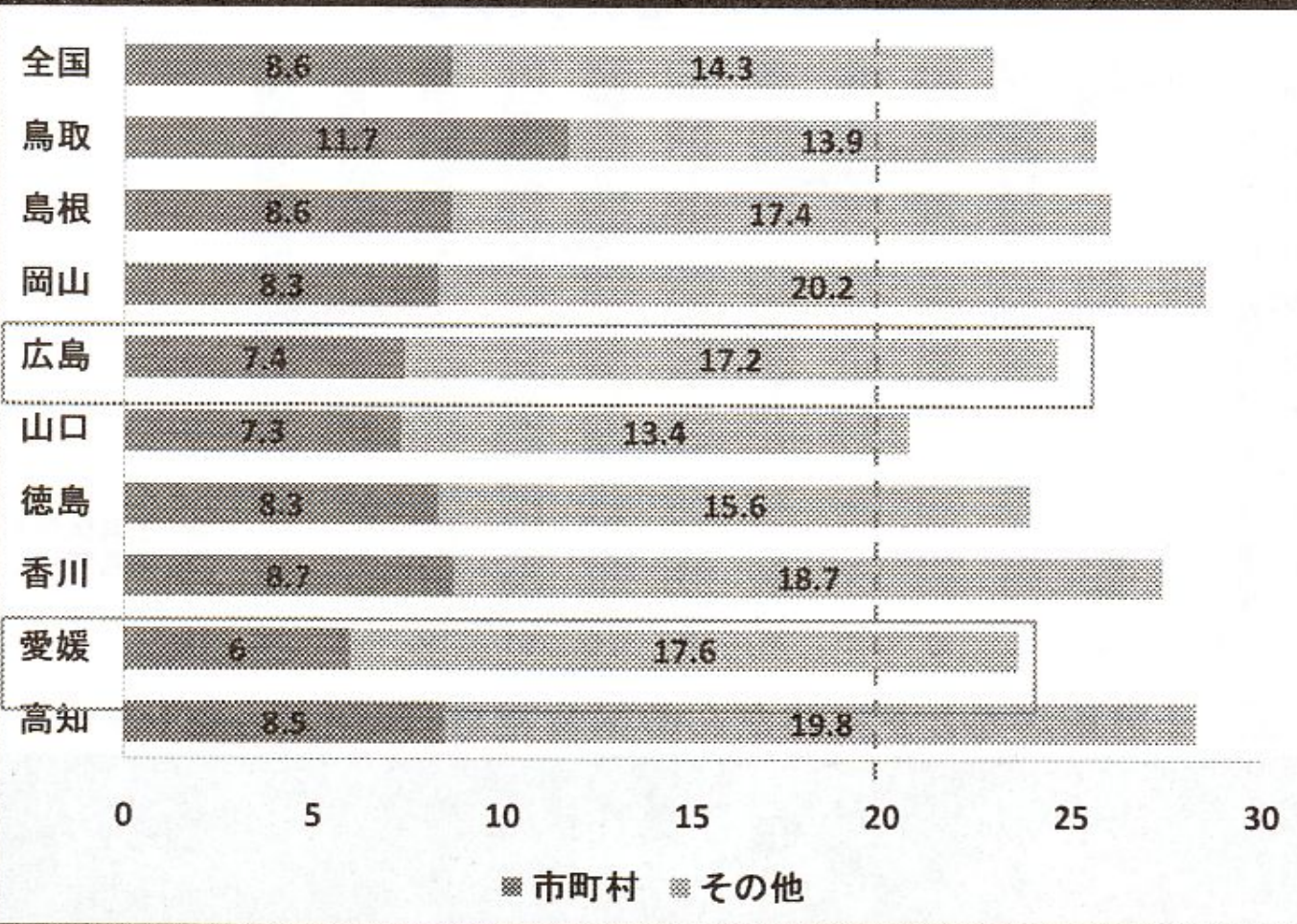
国別子宮頸がん検診受診率(%)



出典: 国立がんセンターがん対策情報センター「地球がん登録全国推進による罹患データ」(1975~2001年)

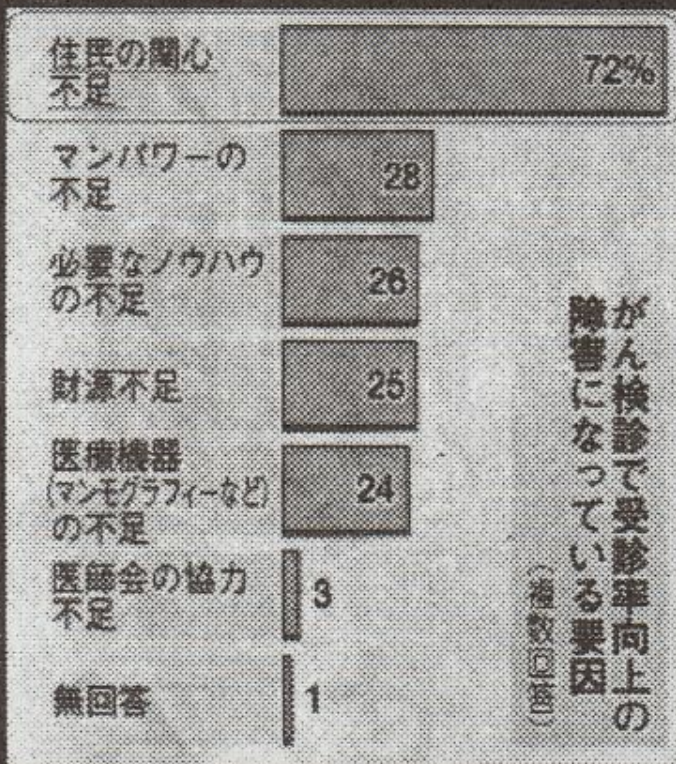
7

子宮がん検診受診率(推計):20~74歳



9

がん検診 普及の障害は「関心不足」

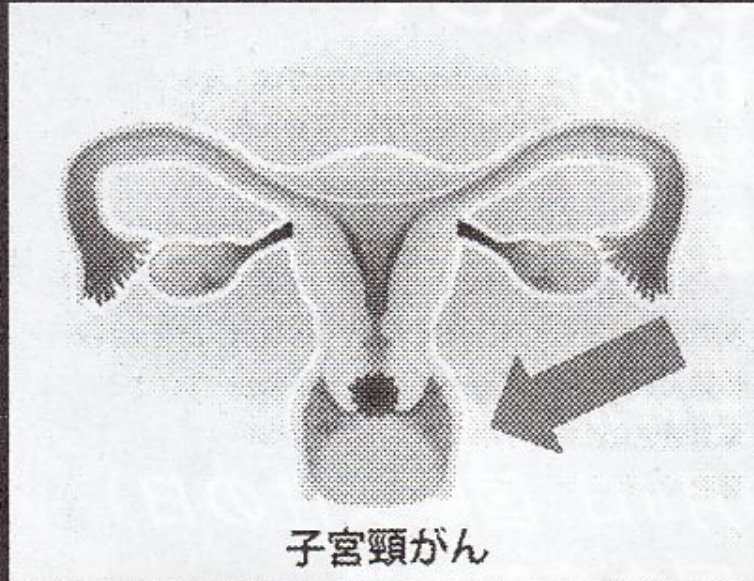


対策として

- 啓発、土・日の検診、公開講座、ネットでの予約などを積極的に行う。
- 訪問指導による受診勧奨、パンフレット、広報活動、ボランティア
- 県民がん対策推進条例(検診の受診促診)

①

10



子宮頸がん

本屋さんにご相談すれば、
取り寄せ可能！！

患者さんご家族のための

子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん 治療ガイドラインの解説

編集：日本婦人科腫瘍学会

編集：日本産科婦人科学会
日本産婦人科学会
婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構

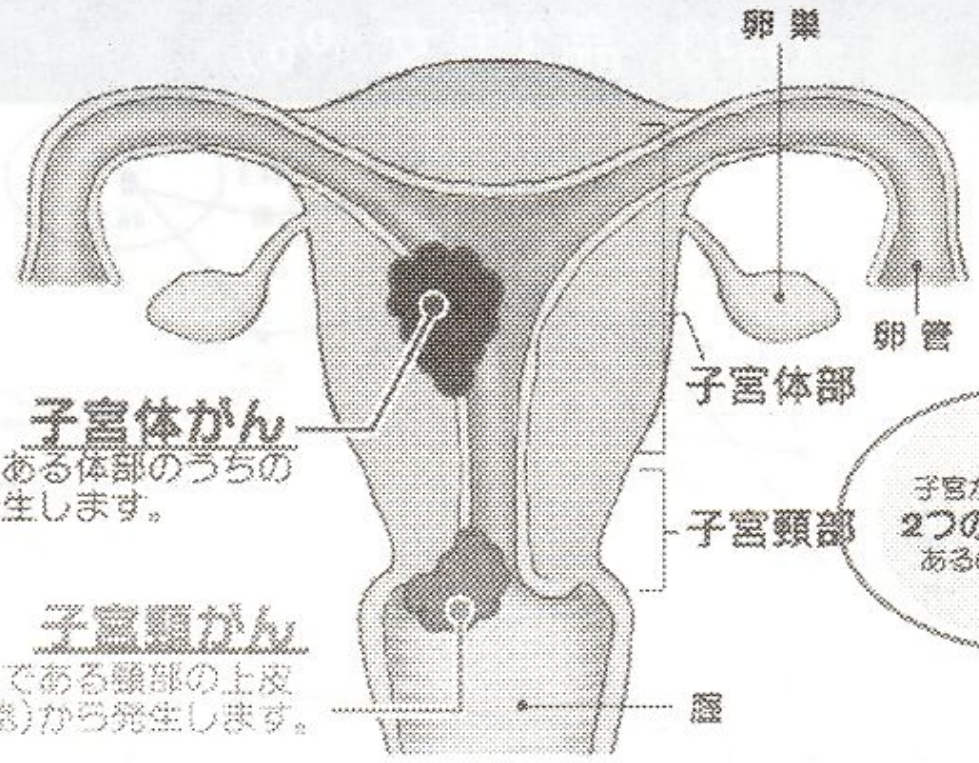
会原出版株式会社

Q01 子宮頸がんとはどのような病気ですか？
その原因や症状について教えてください。

A. 子宮頸がんは、子宮の入り口部分（子宮頸部）
にできるがんで、扁平上皮がんと腺がんに大別さ
れます。

その多くはヒトパピローマウイルスの感染に
よって起こります。

特徴的な症状は、性交時の出血（接触出血）です。



子宮体がん

子宮の奥にある体部のうちの
内膜から発生します。

子宮頸がん

子宮の入口である頸部の上皮
(表面の細胞)から発生します。



子宮がんには
2つの種類が
あるのです。

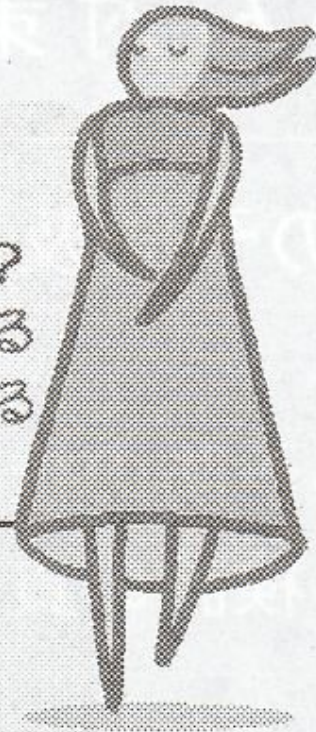
このような

自覚症状はありませんか？

- ➡ 月経ではないのに出血がある
- ➡ 特にセックスの後に出血がある
- ➡ 黄色いおりものが出る

子宮頸がんの初期段階では全くと言っていいほど自覚症状がありません。セックス経験のある方は1年に一度、検診を受けましょう。

誕生日に検診するのも一つの方法です。



子宮頸がん

子宮体がん

ライフスタイルの欧米化

- 30～40歳代
(10万人あたり30～40人)
- 40歳以上では年々減少
- 20～30歳では年々増加

- 50～60歳代
(10万人あたり5～20人)
- 以前は少なかったが、年々年齢層を問わず増加

なりやすい年齢層

- 性交渉の相手の多い方
- 妊娠出産回数が多い方
- 喫煙される方
- 避妊薬の長期使用

- 閉経された方
- 子宮内膜増殖症のある方
- 月経異常のあるかた
- 妊娠・出産経験のない方
- 肥満・高血圧・糖尿病のある方

なりやすい人

1年間に約7,000人が診断され、約2,500人が亡くなっています。

1年間に約5,000人が診断され、約1,000人が亡くなっています。

15

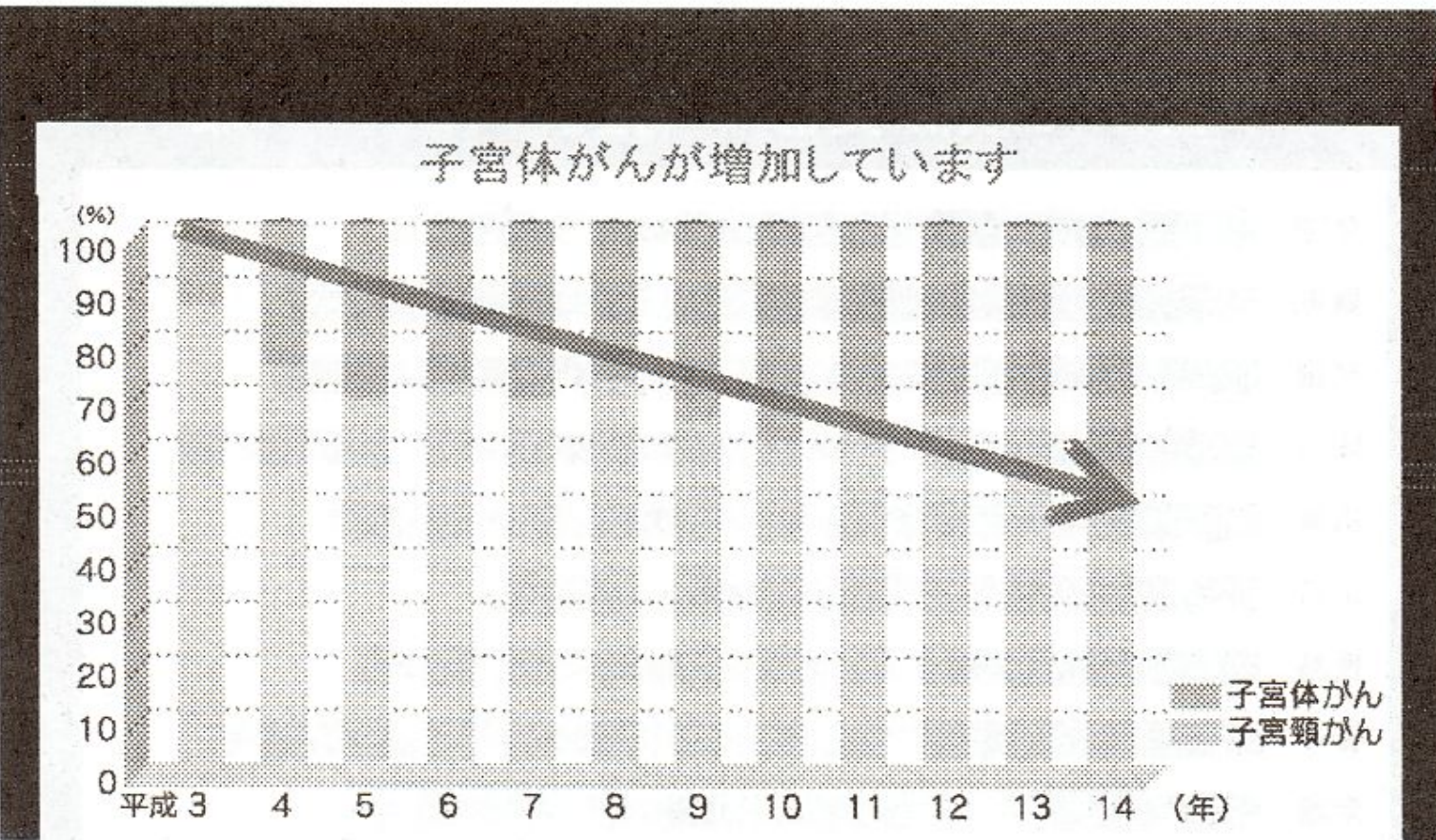
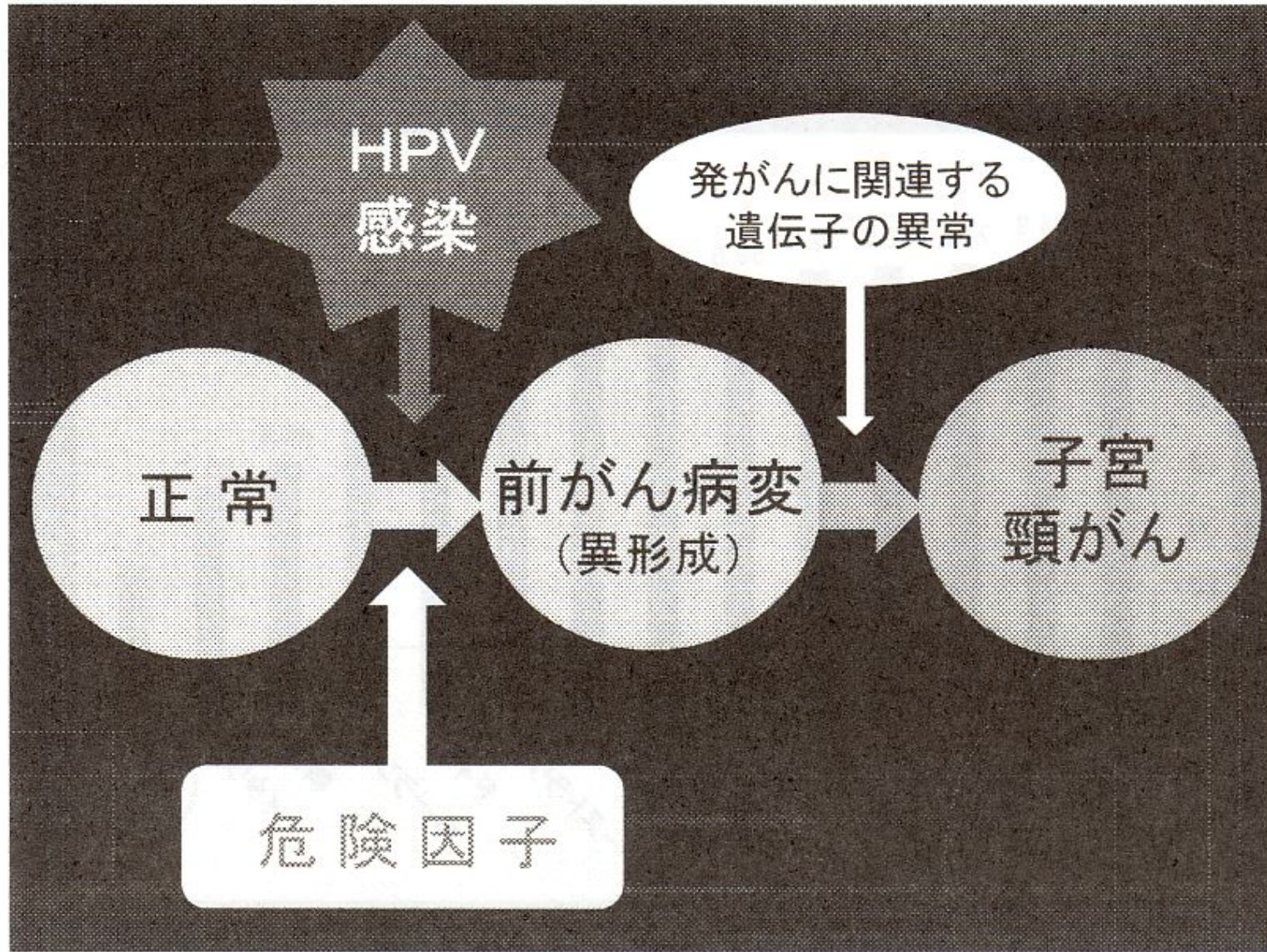


図 子宮頸がんと子宮体がんの割合推移(四国がんセンター)

16



正常

HPV
感染

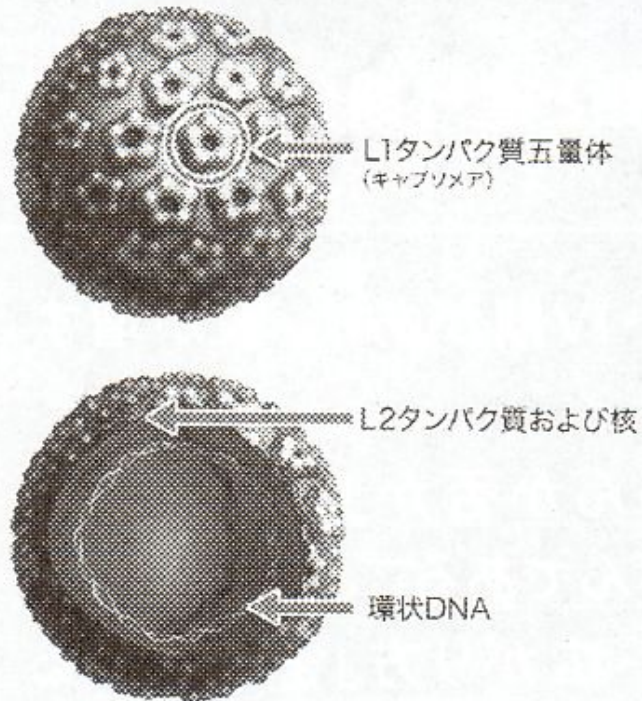
発がんに関連する
遺伝子の異常

前がん病変
(異形成)

子宮
頸がん

危険因子

ヒトパピローマウイルス (HPV)



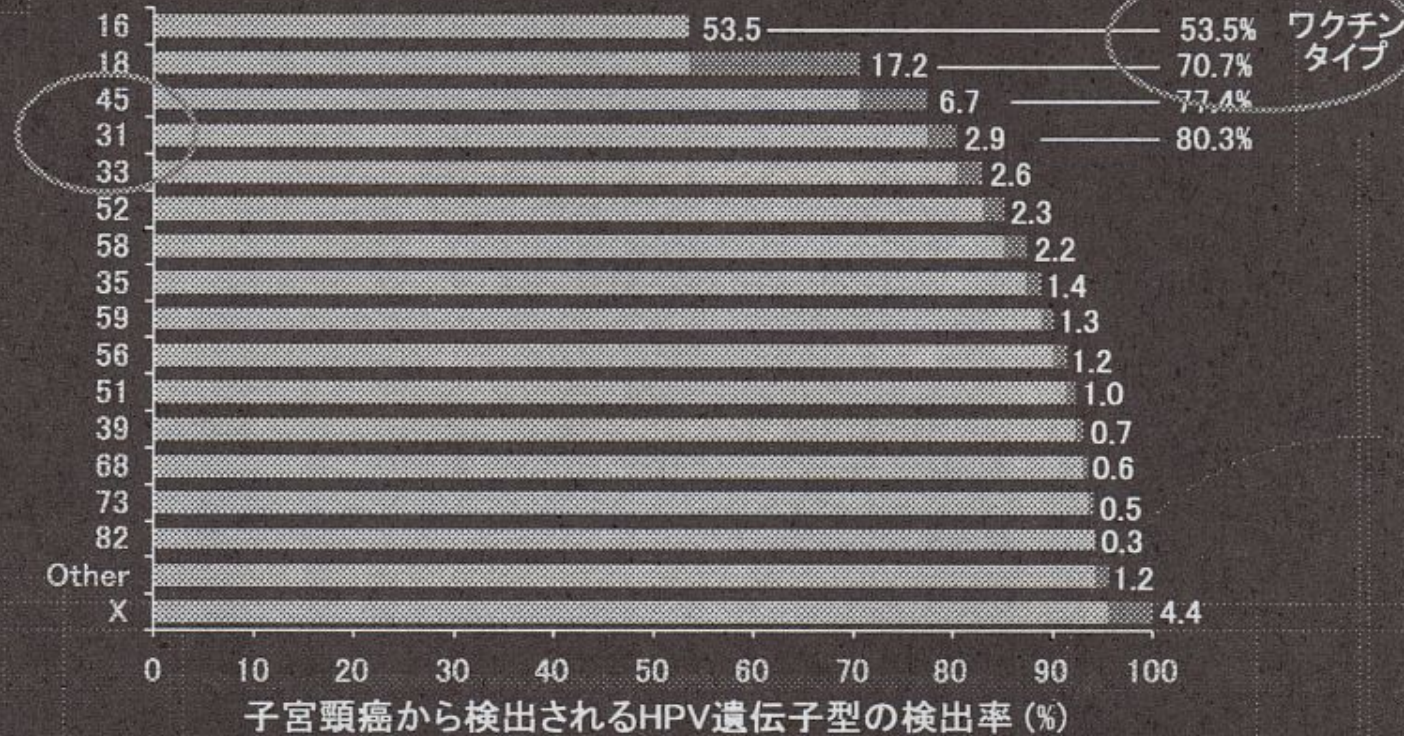
- 16型と18型が最も検出頻度の高い発がん性HPVで世界的には約70%に子宮頸がんから検出される¹⁾。

ヒトパピローマウイルス (Human papilloma virus; HPV)

1) Munoz N, Bosch FX, Casllellsague X, et al: Int J Cancer 111:278-285, 2004 Reprinted from J Virol 68:4503-4505, 1994.

欧米における子宮頸がんに関連する 発癌性HPVの遺伝子型

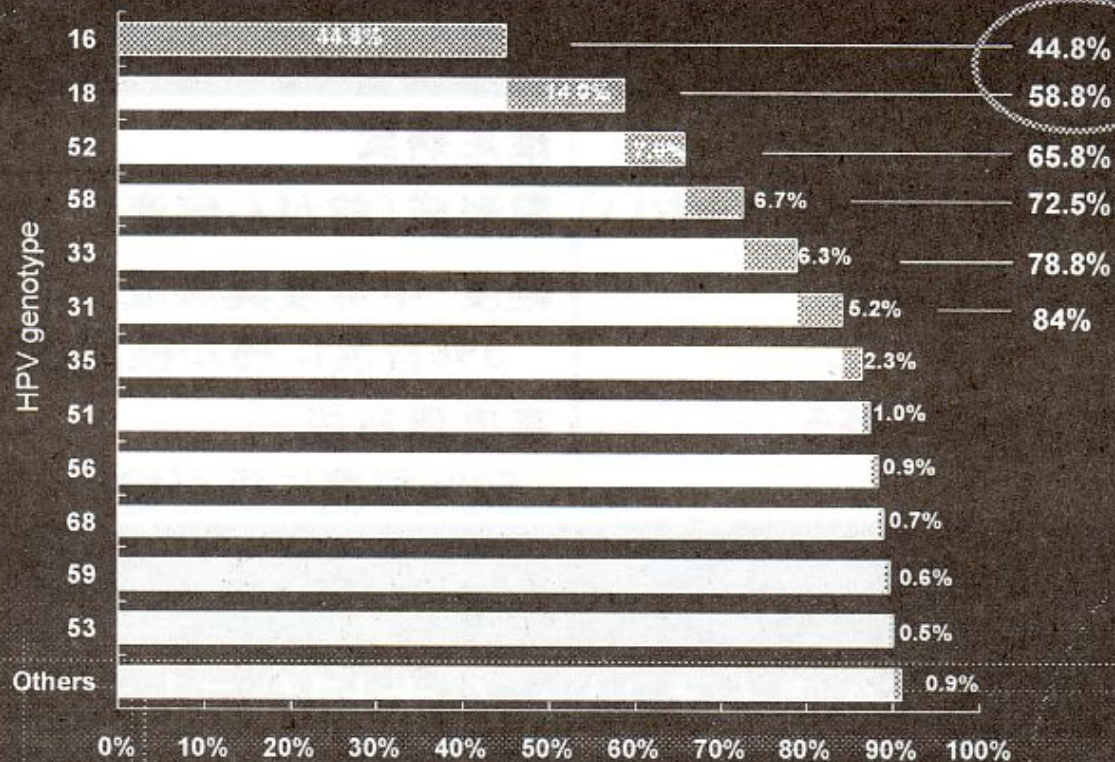
HPV 遺伝子型



Muñoz N *et al.* Int J Cancer 2004; 111: 278-85

18A

日本における子宮頸がんに関連する 発癌性HPVの遺伝子型



浸潤癌細胞から分離されたHPVタイプ別分布

Miura S et al.: Int. J. Cancer. 119, 2713-2715, 2006

19

ヒトパピローマウイルス(HPV) って何(1)？

- HPVは通常のウイルスで男女の性器に感染する最も知られていない性感染症の一つである。
- HPVは無症状で健康上の問題もなく、2年以内に消失する。
- 低リスク型HPV(6/11型)は、性器疣贅(ゆうぜい：いぼ)を来す。高リスク型HPV(16/18型)は子宮頸部に感染し、長い年月を経て子宮頸がんに進展する。

ヒトパピローマウイルス (Human papilloma virus; HPV)

05

ヒトパピローマウイルス(HPV) って何(2)?

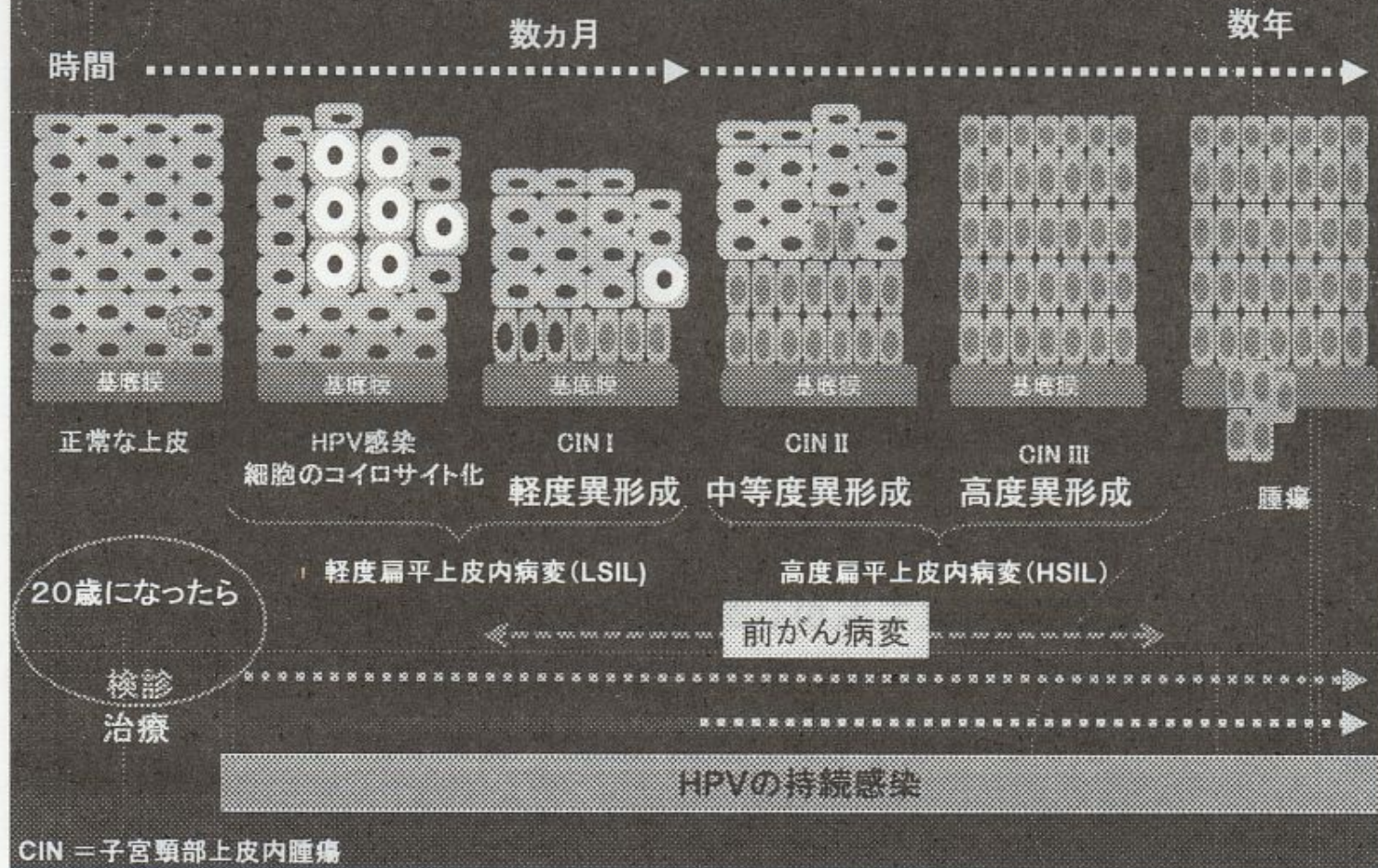
21

- HPVは子宮頸がんの発生に重要な役割を演じるが、HPV感染だけでは必ずしもがん化しない。
 - がん化には二次的要因(生涯における性交相手の人数, 喫煙, 避妊薬の長期使用, 多産など)が関与している。
-

ヒトパピローマウイルス (Human papilloma virus; HPV)

発癌性HPVの感染と子宮頸癌への移行

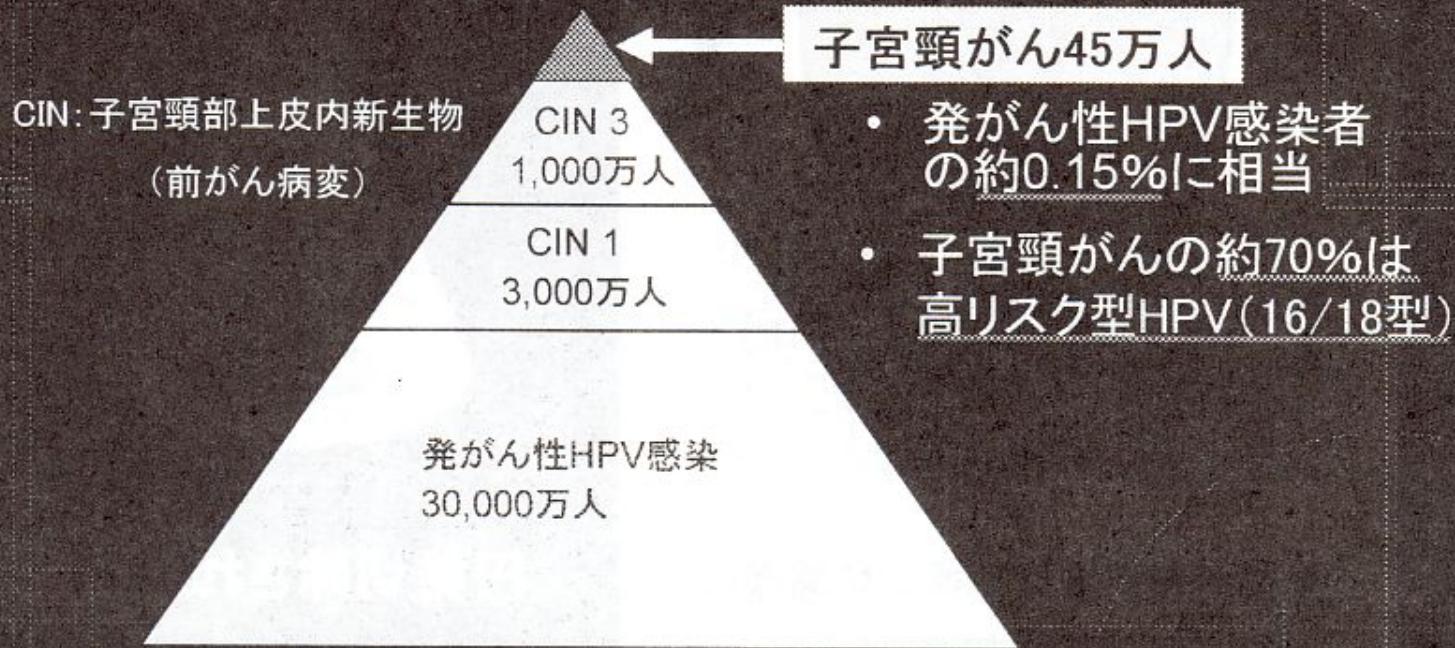
22



発がん性HPVの感染と子宮頸部病変の発生

23

発がん性HPVに感染してもがん化するのはごくわずか



子宮頸がんの世界での年間罹患患者推定 (WHO)

13

24



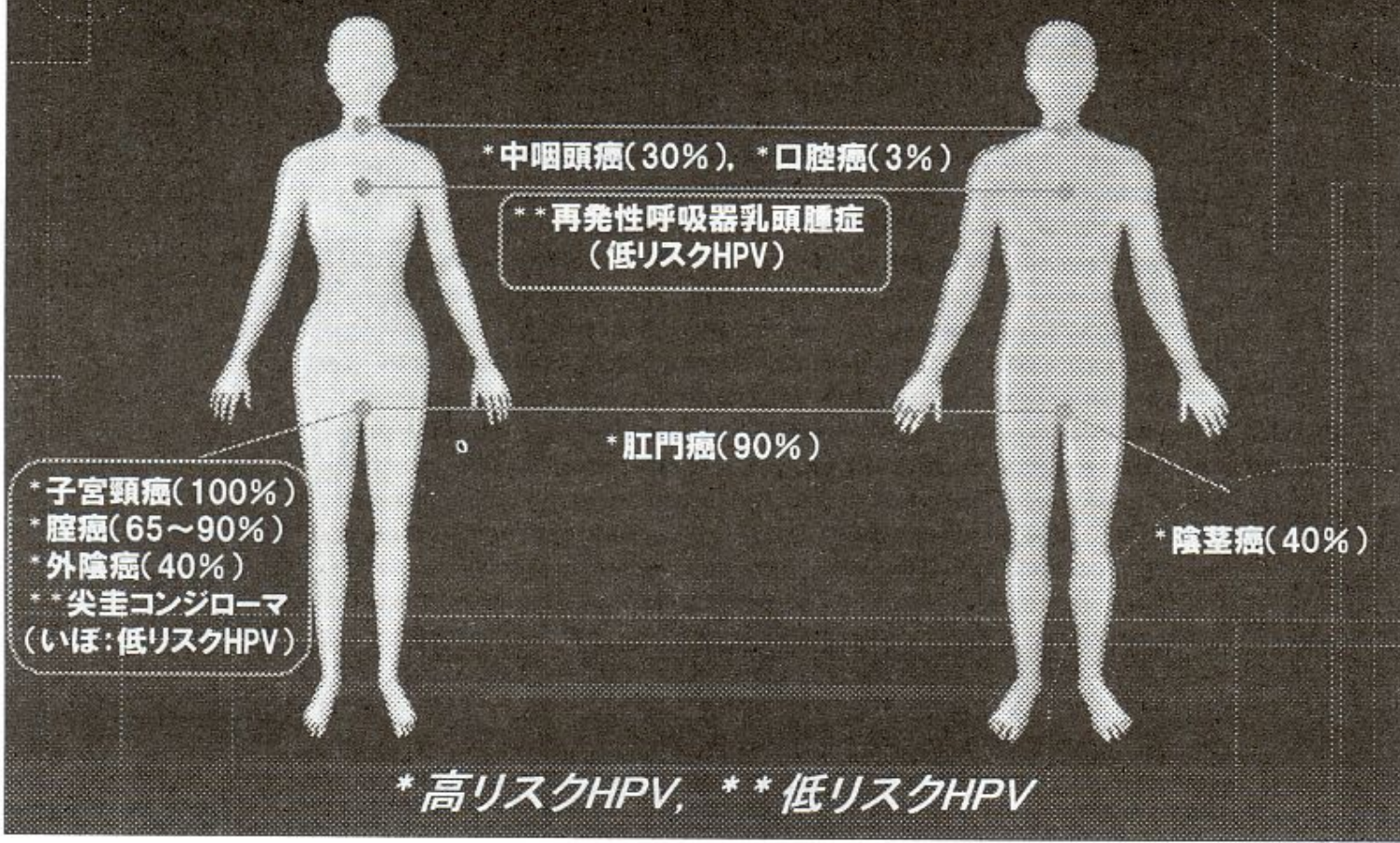
Pap. X100

パピローマウイルス感染細胞

子宮頸部にできたいぼ
(尖圭(せんけい)コンジローマ)

HPVは男女の多くの疾患に関与している

25

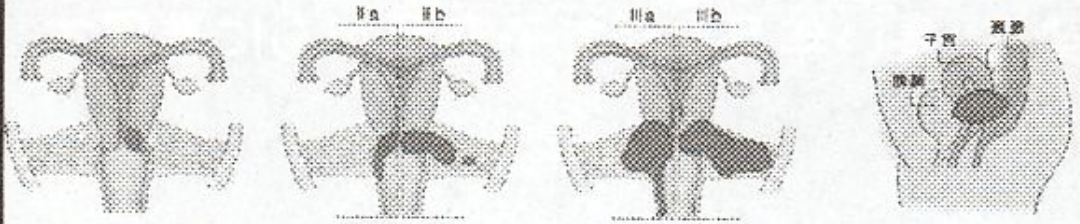


Q02 子宮頸がんの進行期分類について教えて下さい。
また、細胞診の分類と進行期分類は別のものでしょうか？

A. 進行期には0・I・II・III・IV期があり、数が増すほど重症になります。

細胞診の分類は「がんか否か」を判定するもの、進行期分類は「がんであることが判明したのち、そのがんの深さ・広がり方」を判定するもので、分類としては全くの別のものです。

子宮頸がんの進行期分類と細胞診の分類との関係

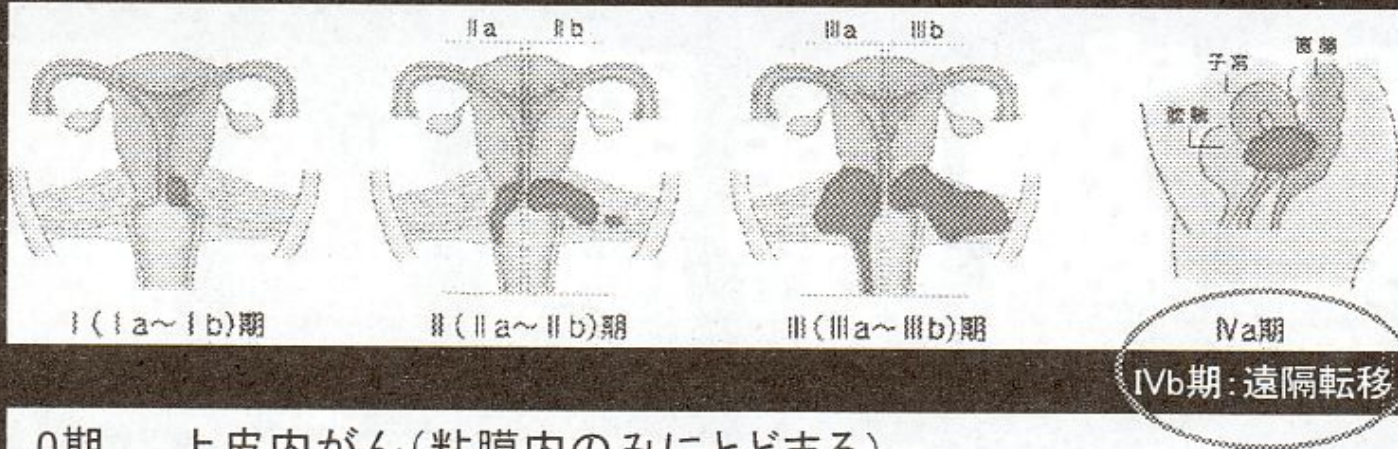
	良性	前がん病変 (異形成)	がん	
細胞診	I / II	III a / III b	IV / V	
がん進行期			0期 I期 II期 III期 IV期	
	I (Ia~Ib)期	II (IIa~IIb)期	III (IIIa~IIIb)期	IVa期

子宮頸部細胞診（疑陽性）

判定	細胞所見	推定病変
クラスⅢ	悪性を疑うが断定できない。	異形成（前がん病変）
Ⅲa	悪性を少し疑う。	軽度・中等度異形成 5%程度に癌が検出される。
Ⅲb	悪性をかなり疑う。	高度異形成 50%程度に癌が検出される。

早期発見、早期治療がたいへん大切なことです!!

子宮頸がんの進行期分類



0期 上皮内がん(粘膜内のみにとどまる)

I期 子宮頸部にとどまる

II期 子宮頸部をこえて広がるが、膣壁の上から2/3にとどまる

III期 骨盤壁まで達するか、膣の上から2/3をこえる。

IV期 肺や肝臓に転移するか、膀胱・直腸へ広がる。

>> 子宮頸がんの治療成績

四国がんセンターで1991年から1999年までに治療した子宮頸がん症例の5年生存率はI期93.5%、II期77.0%、III期53.6%、IV期11.5%でした(図10)。

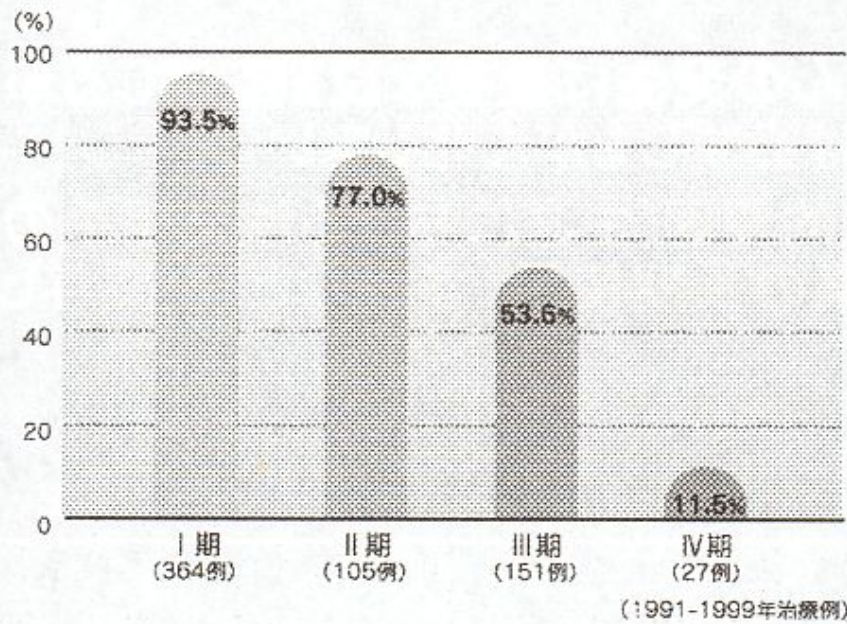


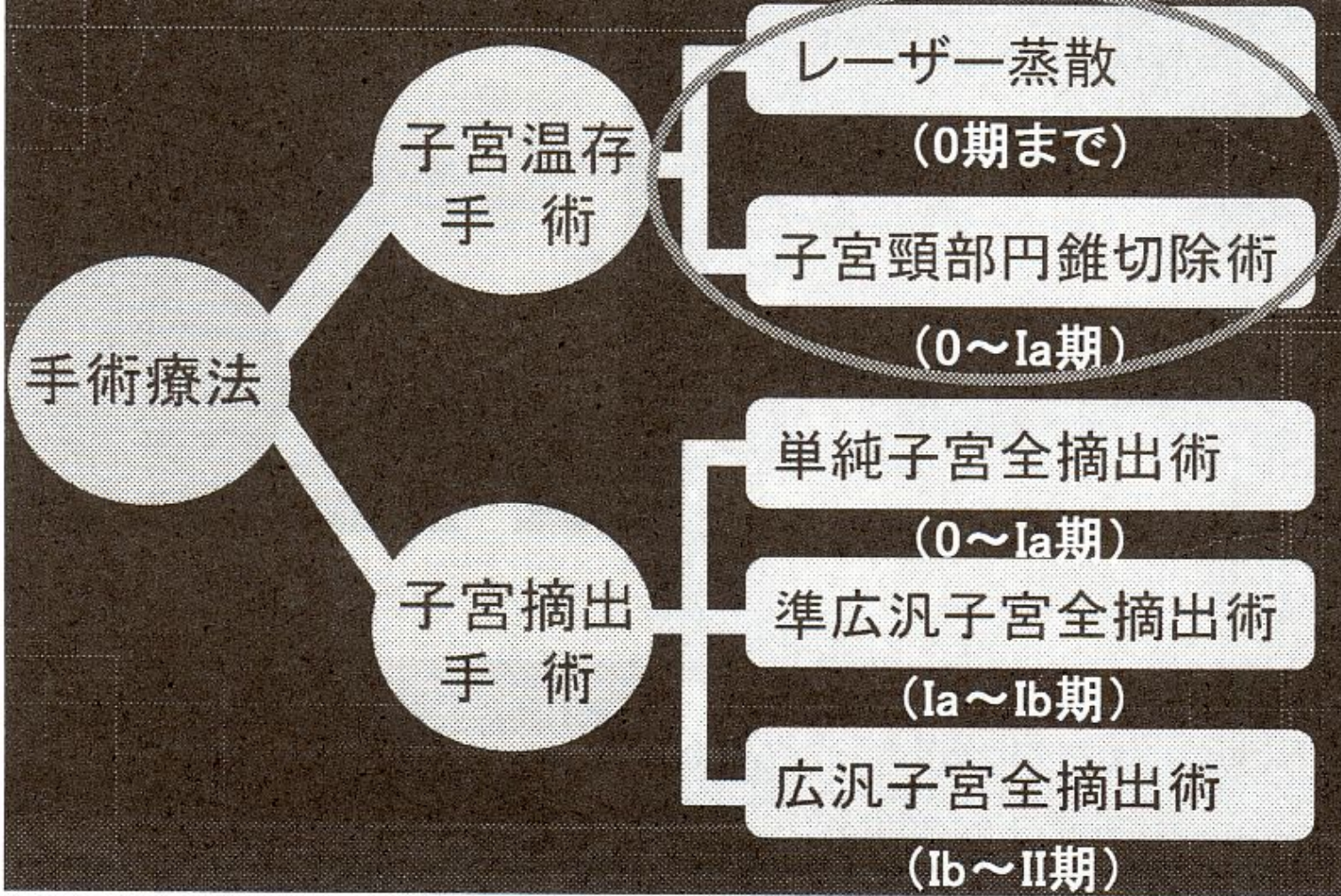
図10 子宮頸がんの5年生存率(四国がんセンター)

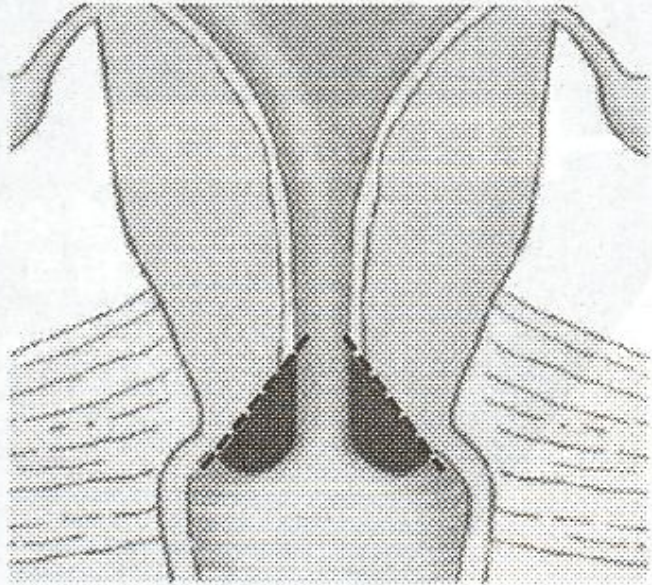
0期は100%
治ります。

0期は子宮
温存可能です

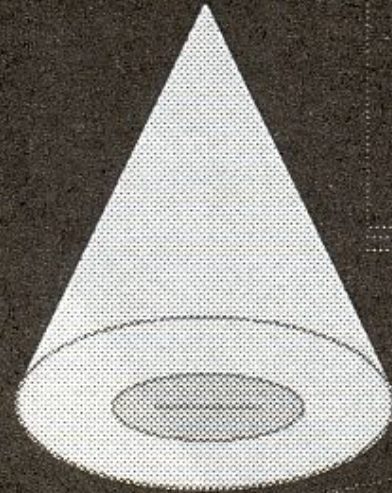
子宮頸がんの手術療法

31





子宮頸部円錐切除術の切除部位
(子宮温存療法)



円錐切除された頸部

子宮頸がん0期

表1 早期子宮頸がんの円錐切除術施行率

0 期	67%	(2,130件/3,171件)
I a1期	41%	(284件/690件)
I a2期	17%	(11件/66件)

(238機関 2002年治療例)

表2 子宮温存手術施行率(四国がんセンター)

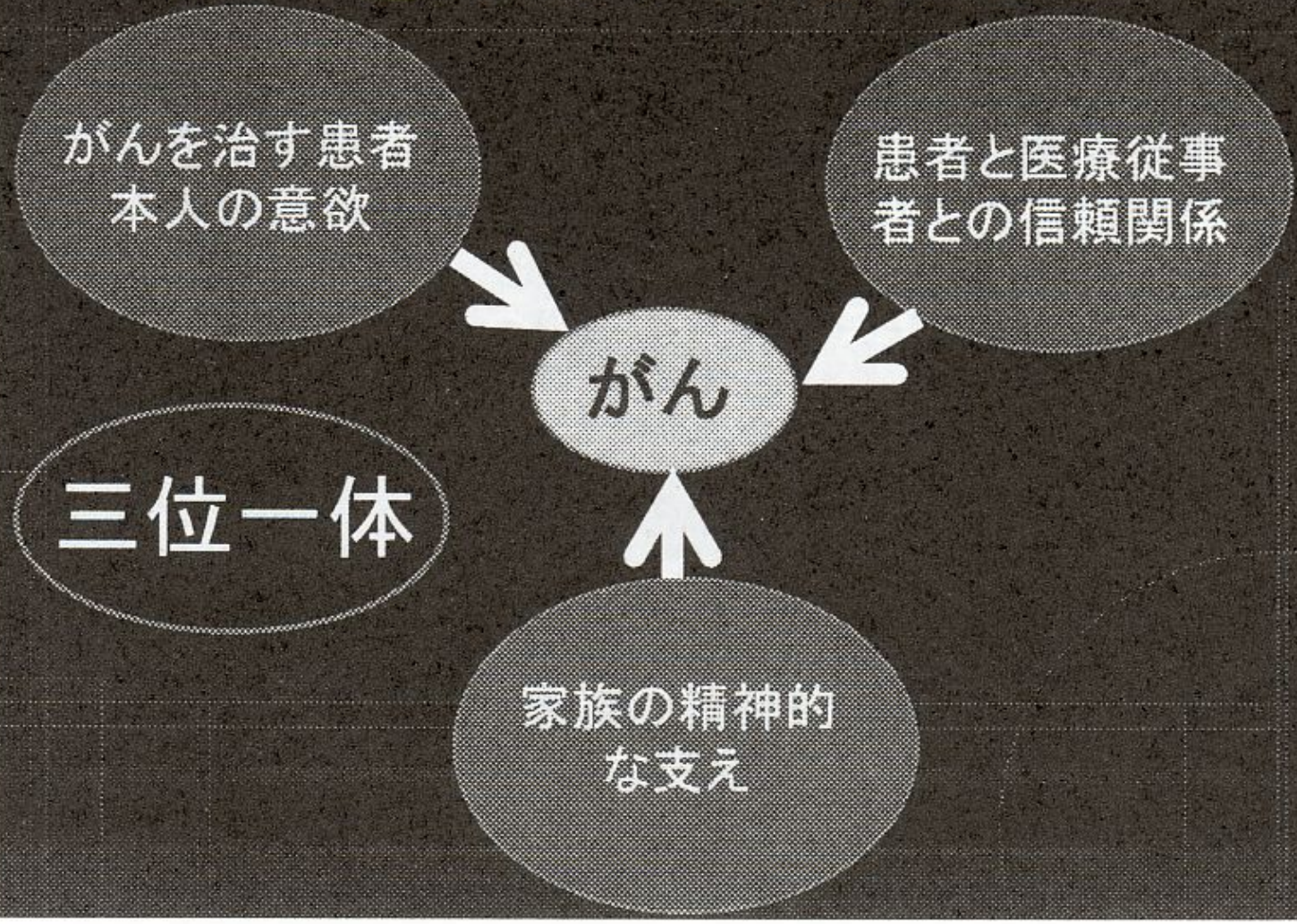
0 期	92%	(106件/115件)
I a1期	67%	(21件/32件)

(2002-2004年治療例)

14

34

がんを克服するためには



がんを治す患者
本人の意欲

患者と医療従事者との
信頼関係

がん

三位一体

家族の精神的な
支え

ワクチン・ラグ（承認の遅れ）

2006年 HPVワクチン（米国で承認）

11～12歳の少女への予防接種を
学校単位で法的に義務づけた。



HPVワクチンの普及に役立った。

3年間のラグ
（承認の遅れ）

2009年 HPVワクチン（日本で承認）

「遺伝子工学で製造されているので、
感染することはありません」

31

36

HPVワクチンの接種法/副作用

■0.5ml 筋肉注射

■当日,1か月後,6か月後の3回

「主な副作用」

疼痛:93.4%,倦怠感:58.0%、

頭痛:62.3%

ほとんど問題はありません。

HPVワクチンについて

- ワクチンは性行為をしていない女性に効果的である。
- ワクチンは現存するHPV感染、性器疣贅（ゆうぜい：いぼ）、前がん病変あるいはがんを治療するものではない。
- 接種女性の99%以上は接種後に抗体を産生し、若年の方がより高い。数年持続し、シミュレーションでは20年続くと言われてています。

ヒトパピローマウィルス (Human papilloma virus; HPV)

「性的接触」を小・中学校で扱うことは適切か？

【小学校】

- 一般に小学生に、「性的接触」を理解させることは困難で、「学習指導要領」の趣旨を越え、保護者等の理解も得られにくい。
- 生命誕生を理解させ、生命を大切に育てる。

【中学校】

- 第1学年で「生殖にかかわる機能の成熟」を学習する。
- 「受精・妊娠までを取扱うもの」とし、妊娠の経過は取扱わない。
- 「性的接触」は内容として示されておらず、「性的接触」の危険性、性行動の適切な判断と行動力を育てる。

集団接種をどう進めるか？

- 11～12才の小学生は両親の理解、協力が不可欠である。
 - ワクチン接種には事前の説明と同意が必要となる。
 - 国民に平等に接種されることが原則である（思春期前の公平な接種，公費助成）。
 - ワクチンを受けても，定期的な検診は必要である（20歳以降）。
-

海外における子宮頸がん予防ワクチンの 公費負担の状況

40

	優先対象年齢	キャッチアップ接種対象	費用負担状況
オーストラリア	12～13歳女子	13～18歳女子 19～26歳の女性 (2年間のキャンペーン)	全額公費負担 (12～26歳)
アメリカ	*11～12歳女子	9～10歳女子 (医師が必要と判断した場合) 13～26歳女性	公費負担あり (接種対象に対し、 いくつかの州)
イギリス	12～13歳女子	18歳まで (2年間のキャンペーン)	全額公費負担 (12～18歳)
フランス	14歳女子	15～23歳 (性交渉前か初交から1年以 内の女性)	国民医療保険で 65%カバーされる (14～23歳)
日本	12～16歳女子 (自治体により さまざま)	なし (これから?)	公費負担:自治体 によりさまざま (半額～全額)

*11～12歳は子どものためのワクチンプログラムによる全額公費負担

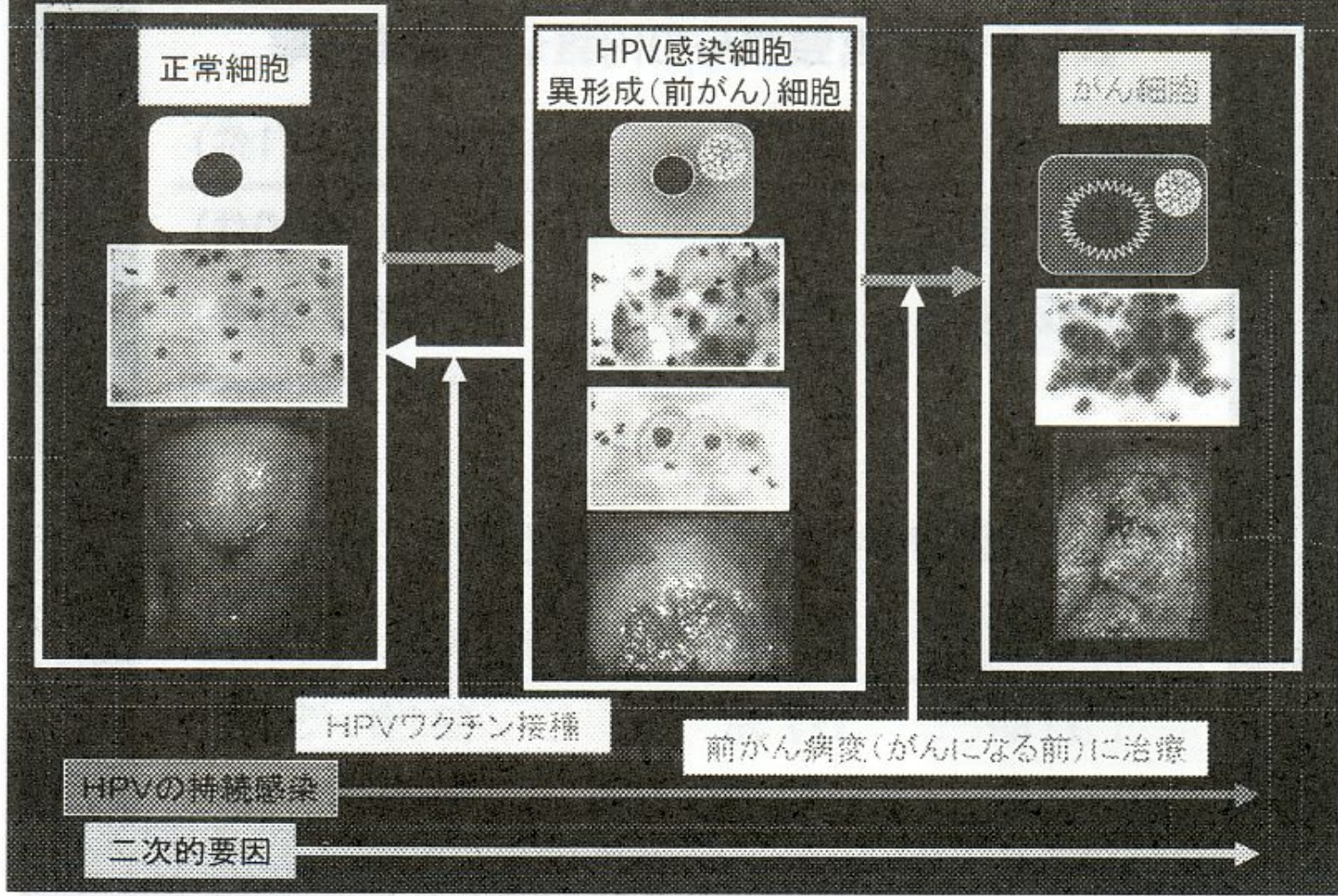
ティール&ホワイトリボン ワクチンについて「海外でのワクチン接種状況」より改変

HPVワクチンの対象者は？

- 初交前の若年女性に接種する。
 - 45歳までの女性に接種する。
 - 子宮頸部細胞診やHPV検査に関係なく、
接種できる。
 - 妊婦には安全性が確立されていない。
 - 男性に対しては(米国、オーストラリア、
カナダではなされている)？
-

42

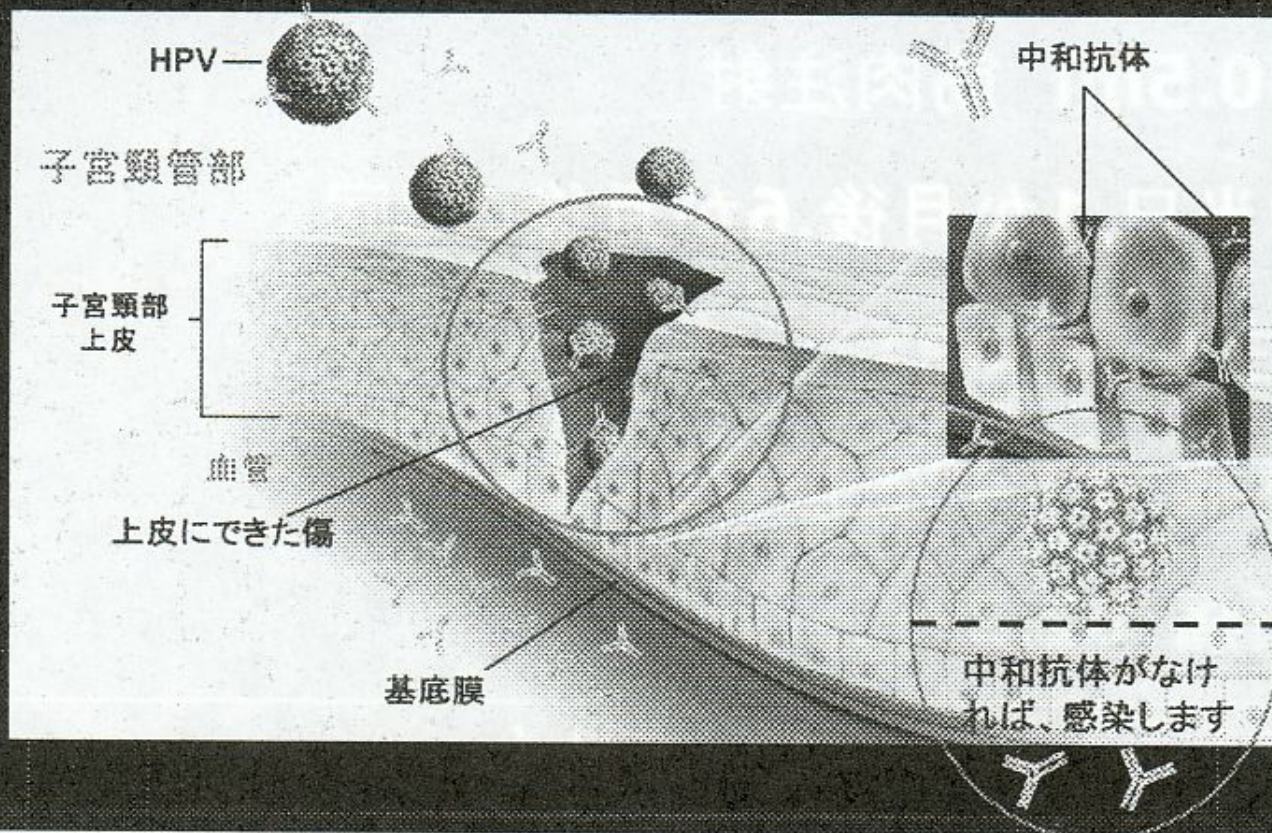
子宮頸がんの早期発見/早期治療および予防について



38

高濃度の中和抗体が子宮頸部に移行しHPV感染を予防する

43



28

44

HPVワクチンの注意点

- HPVワクチンは予防ワクチンであり、治療ワクチンではありません。
 - ワクチンを接種しても検診は必要です。
-

終わりに

- 行政関係者, 教育者, PTA, 医療従事者に性教育を通して思春期少年/少女の心と健康を守ることがまさに求められている。

ヒトパピローマウィルス (Human papilloma virus; HPV)

46

ご静聴ありがとうございました

検診を受けし^{あなた}女性の ひなまつり



産婦人科医は^{あなた}女性の
強い味方です